富山県内の中小企業動向調査

ファーストTrend

2024年10月号

CONTENTS

1．中小企業動向調査［2024年7～9月実績/10～12月見込/2025年1～3月予測］

2．現在の業況、DXへの取組状況について

富山第一銀行

中小企業動向調査（2024年9月末日基準）

この調査は、富山県内企業329社からのアンケート結果をまとめたものです。
企業の調査資料として、2024年7月～9月の実績、2024年10月～12月の見込、2025年1月～3月の先行き見通しを集約した概要です。なお､季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
329（641）
うち、製造業69社、非製造業260社

調査時期：2024年10月
方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

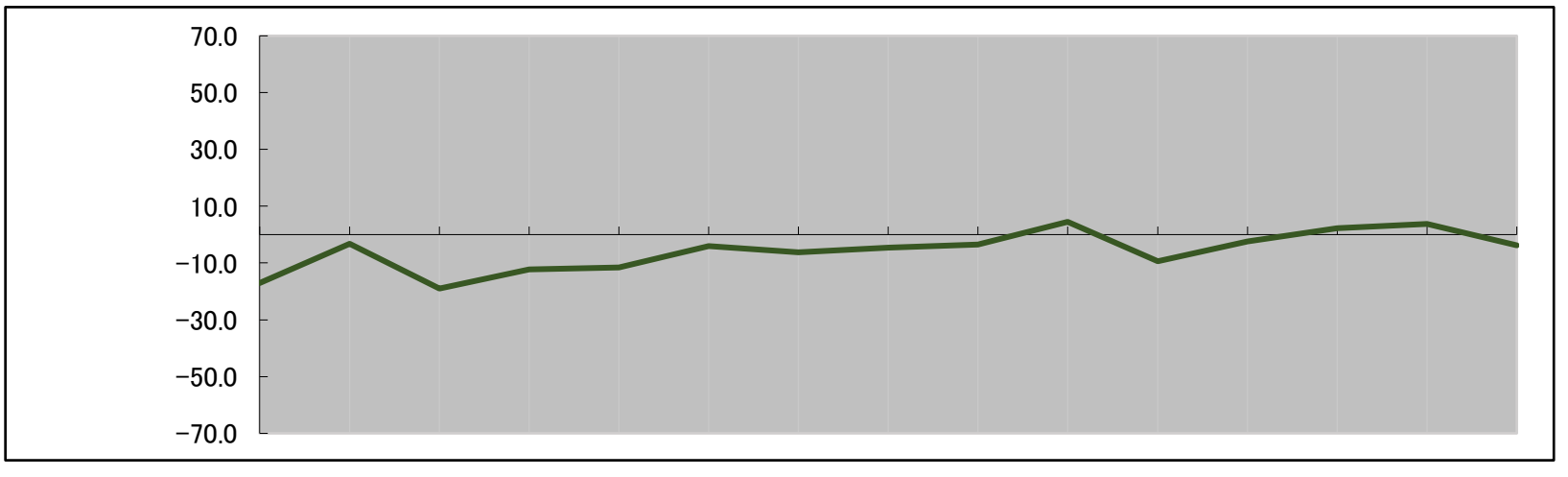
日本銀行富山事務所が2024年11月に公表した「富山県金融経済クォータリー2024年秋」によると、「最終需要において個人消費は、物価上昇の影響などがみられるものの、回復に向けた動きがみられている。設備投資は、能力増強・省力化投資、脱炭素・環境対応投資に加え、新規事業向けの投資に踏み切る動きがみられるほか、地震による修繕などへの投資もみられ、増加している。住宅投資は、足もと減少している。公共投資は、着実に増加している。生産は、このところ横ばい圏内の動きとなっている。業種別にみると、電気機械は、弱めの動きとなっている。医薬品を中心とする化学は、緩やかに増加している。金属製品は、下げ止まっている。汎用・生産用・業務用機械は、足もと減少している。雇用・所得環境は、改善しつつある。消費者物価（除く生鮮食品）は、上昇している。企業倒産は、件数・負債総額ともに前年を上回った。」とあります。富山県内の中小企業の景気は緩やかに回復しつつあるとみられています。

Ⅰ．企業業況

（小数点第2位を四捨五入）

企業業況の推移……（全産業）　(%)　見込　予測

種別＼期別	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
良い	15.4	22.0	17.4	17.2	16.3	22.6	20.7	20.5	20.4	24.2	18.6	20.4	23.7	21.3	17.7
普通	52.1	52.8	46.2	53.5	55.8	50.9	52.4	54.3	55.7	56.1	53.4	56.8	54.8	61.1	60.8
悪い	32.5	25.2	36.4	29.4	27.9	26.5	26.9	25.1	23.9	19.7	28	22.8	21.5	17.6	21.5
D．I．	-17.1	-3.2	-19.0	-12.2	-11.6	-4.0	-6.2	-4.6	-3.5	4.5	-9.4	-2.4	2.2	3.7	-3.8



富山県内の中小企業の業況を全産業でみると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、プラス2.2となり、前回比4.6ポイント改善しました。先行きについては、2024年10~12月以降は改善見込みですが、その後は悪化傾向となる予想です。

Ⅰ．企業業況（続き）

企業業況の推移……（うち製造業のみ）

（小数点第2位を四捨五入）

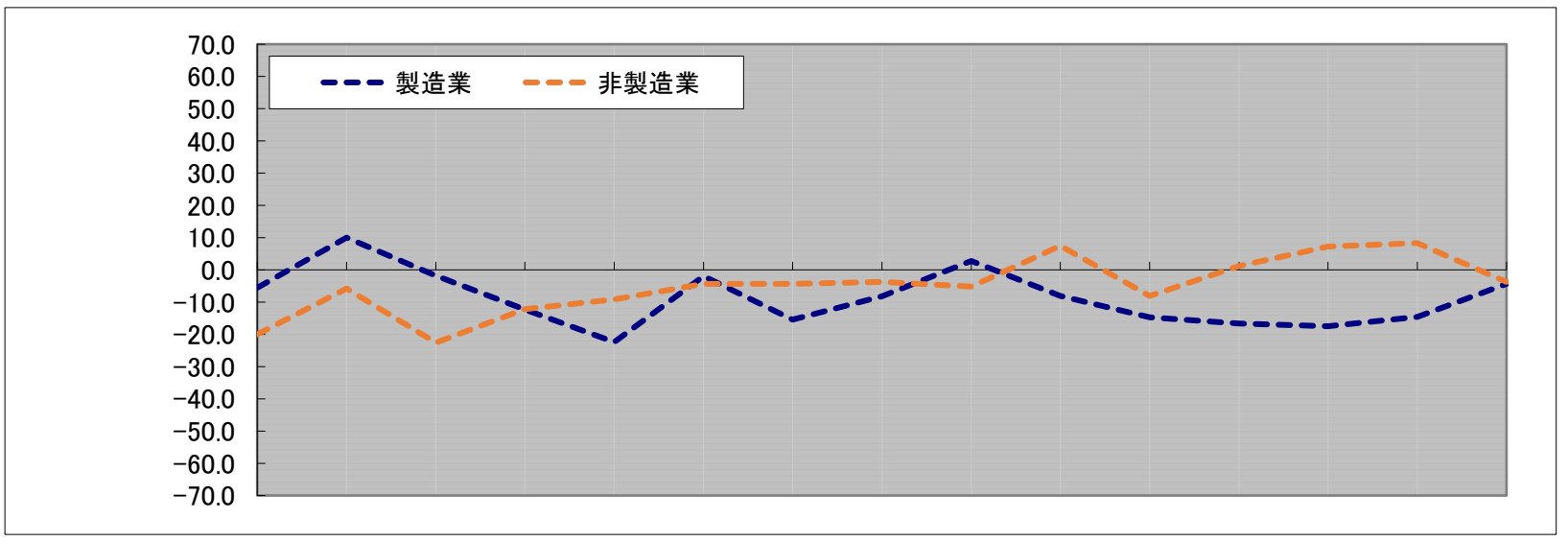
(%)

	2021		2022				2023				2024			見込	予測 2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
良い	23.6	36.7	30.9	24.6	15.5	26.4	25.0	21.9	30.6	25.8	20.6	22.7	21.7	18.8	23.2
普通	47.3	36.7	36.4	38.6	46.6	45.3	34.6	47.9	41.7	40.3	44.1	37.9	39.1	47.8	49.3
悪い	29.1	26.7	32.7	36.8	37.9	28.3	40.4	30.1	27.8	33.9	35.3	39.4	39.2	33.4	27.5
Ｄ．Ｉ．	-5.5	10.0	-1.8	-12.3	-22.4	-1.9	-15.4	-8.2	2.8	-8.1	-14.7	-16.7	-17.5	-14.6	-4.3

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)

	2021		2022				2023				2024			見込	予測 2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
良い	13.3	19.2	14.6	15.7	16.5	21.8	19.8	20.2	17.7	23.9	18.1	19.8	24.2	21.9	16.2
普通	53.3	55.9	48.3	56.4	57.9	52.0	56.0	55.9	59.4	59.7	55.7	61.6	58.8	64.5	63.8
悪い	33.3	24.9	37.2	27.9	25.7	26.2	24.1	23.9	22.9	16.4	26.2	18.6	17.0	13.6	20.0
Ｄ．Ｉ．	-20.0	-5.8	-22.6	-12.2	-9.2	-4.4	-4.3	-3.7	-5.2	7.5	-8.1	1.2	7.2	8.3	-3.8



製造業と非製造業に分けてみると、製造業の業況判断指数D.I.は、マイナス17.5となり、前回比0.8ポイントの悪化となりました。非製造業ではプラス7.2となり、前回比6.0ポイント改善しました。製造業では2024年10月以降も業況D.I.は引続きマイナスとなる予想です。一方、非製造業では2024年10~12月以降は改善見込みですが、その後は悪化傾向となる予想です。

Ⅱ．売上高状況

（小数点第2位を四捨五入）

売上高状況の推移……（全産業）　(%)　見込　予測

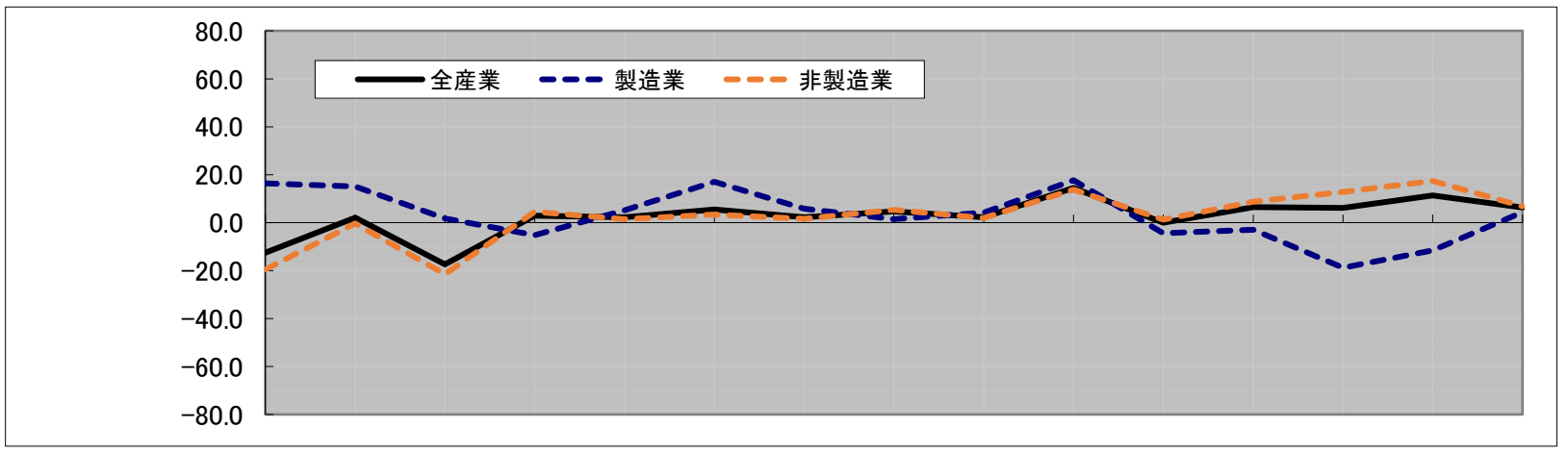
	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
増加	20.0	28.4	16.8	27.6	25.7	27.7	26.5	27.6	27.1	31.5	24.4	28.9	28.1	24.9	22.2
横ばい	47.5	45.3	49.1	47.7	50.8	50.0	49.2	49.5	48.1	51.5	51.2	48.6	50.0	61.6	61.9
減少	32.5	26.3	34.2	24.7	23.5	22.3	24.3	23.0	24.8	17.0	24.4	22.5	21.9	13.5	15.9
D．I．	-12.5	2.1	-17.4	2.9	2.2	5.5	2.3	4.6	2.3	14.5	0.0	6.4	6.2	11.4	6.3

売上高状況の推移……（うち製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
増加	30.9	40.0	27.3	24.6	32.8	37.7	34.6	28.8	33.3	40.3	22.1	31.8	20.3	17.4	26.1
横ばい	54.5	35.0	47.3	45.6	39.7	41.5	36.5	43.8	37.5	37.1	51.4	33.4	40.6	53.6	52.2
減少	14.5	25.0	25.5	29.8	27.6	20.8	28.8	27.4	29.2	22.6	26.5	34.8	39.1	29.0	21.7
D．I．	16.4	15.0	1.8	-5.3	5.2	17.0	5.8	1.4	4.2	17.7	-4.4	-3.0	-18.8	-11.6	4.4

売上高状況の推移……（うち非製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
増加	17.3	26.2	14.6	28.2	24.1	25.8	24.9	27.3	25.5	29.5	25.0	28.1	30.2	26.8	21.1
横ばい	45.8	47.3	49.4	48.1	53.3	51.6	51.8	50.8	50.9	54.9	51.2	52.5	52.4	63.8	64.6
減少	36.9	26.5	36.0	23.7	22.6	22.5	23.3	21.9	23.6	15.7	23.8	19.4	17.4	9.4	14.3
D．I．	-19.6	-0.3	-21.5	4.5	1.5	3.3	1.6	5.4	1.9	13.8	1.2	8.7	12.8	17.4	6.8



売上高D.I.は全産業ではプラス6.2となり、前回比0.2ポイント悪化しました。2024年10月以降もプラス圏内で推移する予想です。
製造業と非製造業に分けてみると、製造業ではマイナス18.8となり、前回比15.8ポイント悪化しました。2024年10月以降は改善予想となっています。
非製造業はプラス12.8となり、前回比4.1ポイント改善しました。2024年10月以降もプラス圏内で推移する予想です。

Ⅲ．製品在庫水準

（小数点第2位を四捨五入）

製品在庫水準の推移……（全産業）　(%)　見込　予測

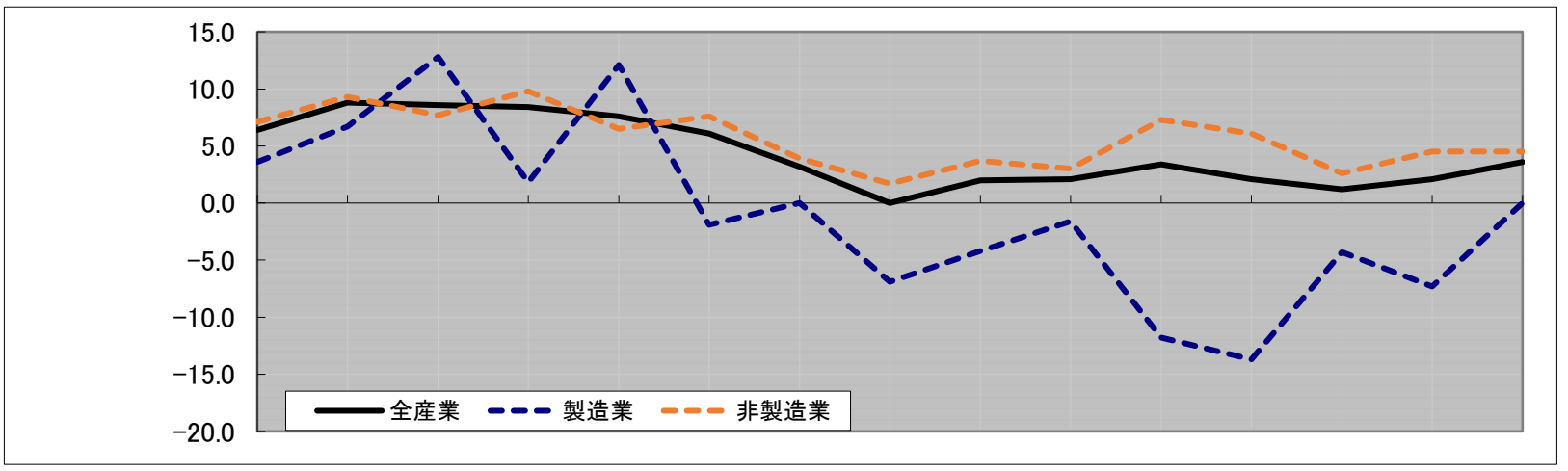
	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
不　足	12.1	12.3	13.3	13.1	13.2	11.0	9.7	7.8	9.0	8.2	9.8	6.7	7.8	6.9	7.5
適　正	82.1	84.2	82.0	82.3	81.2	84.1	83.8	84.3	84.0	85.8	83.8	88.7	85.6	88.3	88.6
過　剰	5.7	3.5	4.7	4.7	5.6	4.9	6.5	7.8	7.0	6.1	6.4	4.6	6.6	4.8	3.9
D．I．	6.4	8.8	8.6	8.4	7.6	6.1	3.2	0.0	2.0	2.1	3.4	2.1	1.2	2.1	3.6

製品在庫水準の推移……（うち製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
不　足	12.7	10.0	16.4	10.5	19.0	11.3	15.4	8.2	8.3	8.1	2.9	3.0	8.7	4.3	7.2
適　正	78.2	86.7	80.0	80.7	74.1	75.5	69.2	76.7	79.2	82.3	82.4	80.3	78.3	84.1	85.6
過　剰	9.1	3.3	3.6	8.8	6.9	13.2	15.4	15.1	12.5	9.7	14.7	16.7	13.0	11.6	7.2
D．I．	3.6	6.7	12.8	1.8	12.1	-1.9	0.0	-6.9	-4.2	-1.6	-11.8	-13.7	-4.3	-7.3	0.0

製品在庫水準の推移……（うち非製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
不　足	12.0	12.8	12.6	13.6	11.9	10.9	8.6	7.7	9.2	8.2	11.5	7.6	7.5	7.5	7.5
適　正	83.1	83.7	82.4	82.6	82.8	85.8	86.8	86.2	85.2	86.6	84.3	90.9	87.6	89.5	89.5
過　剰	4.9	3.5	5.0	3.8	5.4	3.3	4.7	6.1	5.5	5.2	4.2	1.5	4.9	3.0	3.0
D．I．	7.1	9.3	7.7	9.8	6.5	7.6	3.9	1.7	3.7	3.0	7.3	6.1	2.6	4.5	4.5



製品在庫水準D.I.はプラス1.2となり前回比0.9ポイント悪化しました。2024年10月以降もプラス圏内で推移する予想です。
製造業はマイナス4.3と前回比9.4ポイント改善しました。2024年10~12月以降は悪化見込みですが、その後は改善する予想です。
非製造業はプラス2.6と前回比3.5ポイント悪化しました。2024年10月以降もプラス圏内で推移する予想です。

Ⅳ．資金繰状況

（小数点第2位を四捨五入）

資金繰状況の推移……（全産業）　(%)　見込　予測

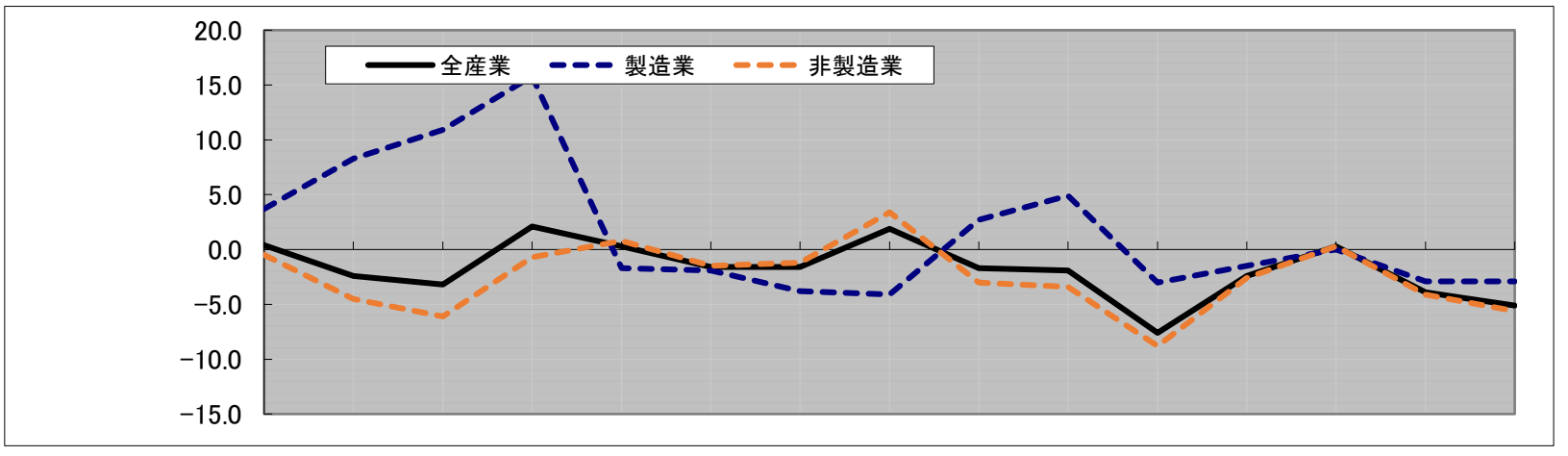
	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
ゆ　る　い	16.8	13.4	15.8	16.9	15.0	14.9	16.8	14.3	14.3	13.6	9.8	13.7	12.3	11.1	10.5
普　　通	66.8	70.8	65.2	68.3	70.2	68.6	64.7	73.2	69.7	70.9	72.8	70.2	75.7	73.9	73.9
厳　し　い	16.4	15.8	19.0	14.8	14.7	16.5	18.4	12.4	16.0	15.5	17.4	16.1	12.0	15.0	15.6
Ｄ．Ｉ．	0.4	-2.4	-3.2	2.1	0.3	-1.6	-1.6	1.9	-1.7	-1.9	-7.6	-2.4	0.3	-3.9	-5.1

資金繰状況の推移……（うち製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
ゆ　る　い	18.2	20.0	21.8	21.1	12.1	7.5	13.5	12.3	12.3	21.0	8.8	12.1	10.1	8.7	10.1
普　　通	67.3	68.3	67.3	73.7	74.1	83.0	69.2	71.2	78.1	62.9	79.4	74.3	79.8	79.7	76.9
厳　し　い	14.5	11.7	10.9	5.3	13.8	9.4	17.3	16.4	9.6	16.1	11.8	13.6	10.1	11.6	13.0
Ｄ．Ｉ．	3.7	8.3	10.9	15.8	-1.7	-1.9	-3.8	-4.1	2.7	4.9	-3.0	-1.5	0.0	-2.9	-2.9

資金繰状況の推移……（うち非製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
ゆ　る　い	16.4	12.1	14.6	16.0	15.7	16.4	17.5	14.8	14.8	11.9	10.0	14.1	12.8	11.7	10.6
普　　通	66.7	71.2	64.8	67.2	69.3	65.8	63.8	73.7	67.4	72.8	71.2	69.2	74.7	72.5	73.2
厳　し　い	16.9	16.6	20.7	16.7	14.9	17.8	18.7	11.4	17.8	15.3	18.8	16.7	12.5	15.8	16.2
Ｄ．Ｉ．	-0.5	-4.5	-6.1	-0.7	0.8	-1.5	-1.2	3.4	-3.0	-3.4	-8.8	-2.6	0.3	-4.1	-5.6



資金繰り状況D.I.は全産業でプラス0.3と前回比2.7ポイント改善しました。
製造業は0.0と前回比1.5ポイント改善しました。2024年10月以降はマイナス圏内で推移する予想です。
非製造業はプラス0.3と前回比2.9ポイント改善しました。2024年10月以降はマイナス圏内で推移する予想です。

Ⅴ．利益状況

（小数点第2位を四捨五入）

利益状況の推移……（全産業）　(%)　見込　予測

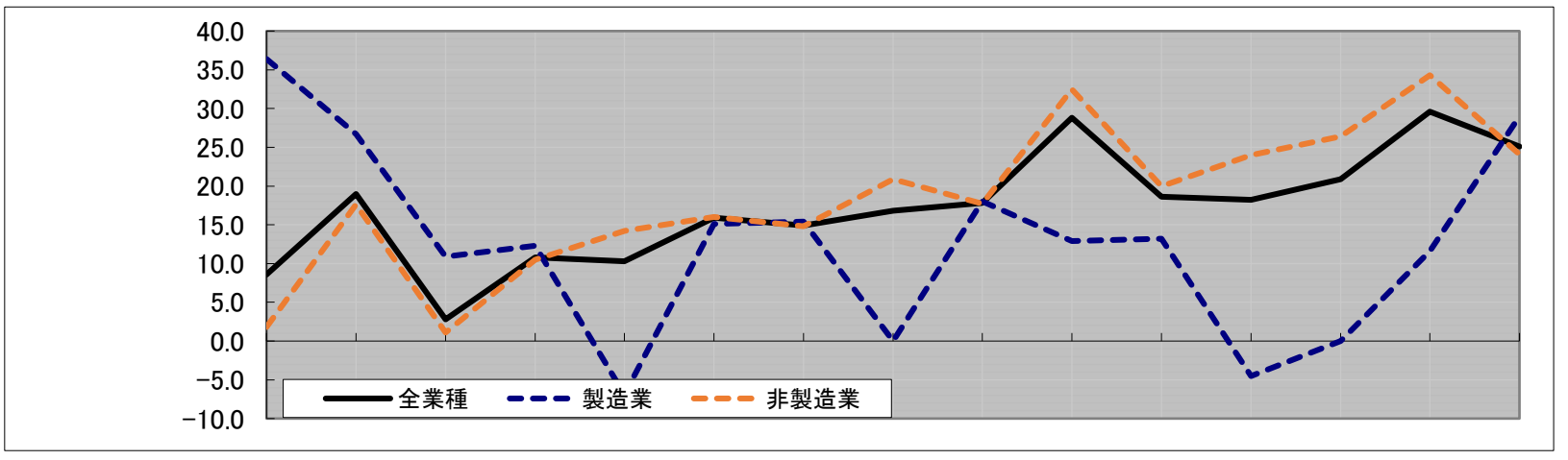
	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
黒字	38.6	42.9	36.7	34.6	35.4	42.4	39.8	40.0	39.1	47.6	41.5	40.1	42.8	42.2	38.3
収支トントン	31.4	33.2	29.4	41.6	39.5	31.1	35.3	63.8	39.7	33.6	35.6	38.0	35.3	45.2	48.5
償却後赤字	30.0	23.9	33.9	23.8	25.1	26.5	24.9	23.2	21.3	18.8	22.9	21.9	21.9	12.6	13.2
Ｄ．Ｉ．	8.6	19.0	2.8	10.8	10.3	15.9	14.9	16.8	17.8	28.8	18.6	18.2	20.9	29.6	25.1

利益状況の推移……（うち製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
黒字	54.5	55.0	41.8	38.6	29.3	41.5	46.2	31.5	45.8	41.9	42.6	30.3	34.8	39.1	44.9
収支トントン	27.3	16.7	27.3	35.1	34.5	32.1	23.1	37.0	26.4	29.0	28.0	34.9	30.4	33.4	39.2
償却後赤字	18.2	28.3	30.9	26.3	36.2	26.4	30.8	31.5	27.8	29.0	29.4	34.8	34.8	27.5	15.9
Ｄ．Ｉ．	36.4	26.7	10.9	12.3	-6.9	15.1	15.4	0.0	18.0	12.9	13.2	-4.5	0.0	11.6	29.0

利益状況の推移……（うち非製造業のみ）　(%)　見込　予測

	2021		2022				2023				2024				2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
黒字	34.7	40.6	35.6	33.8	36.8	42.5	38.5	42.1	37.3	48.9	41.2	42.6	44.9	43.0	36.6
収支トントン	32.4	36.4	29.9	42.9	40.6	30.9	37.7	36.7	43.2	34.7	37.6	38.8	36.6	48.3	50.9
償却後赤字	32.9	23.0	34.5	23.3	22.6	26.5	23.7	21.2	19.6	16.4	21.2	18.6	18.5	8.7	12.5
Ｄ．Ｉ．	1.8	17.6	1.1	10.5	14.2	16.0	14.8	20.9	17.7	32.5	20.0	24.0	26.4	34.3	24.1



全産業の利益状況D.I.はプラス20.9と前回比2.7ポイント改善しました。
製造業は0.0と前回比4.5ポイント改善しました。2024年10月以降も改善傾向となる予想です。
非製造業はプラス26.4と前回比2.4ポイント改善しました。2024年10月以降もプラス圏内で推移する予想です。

Ⅵ．設備投資動向

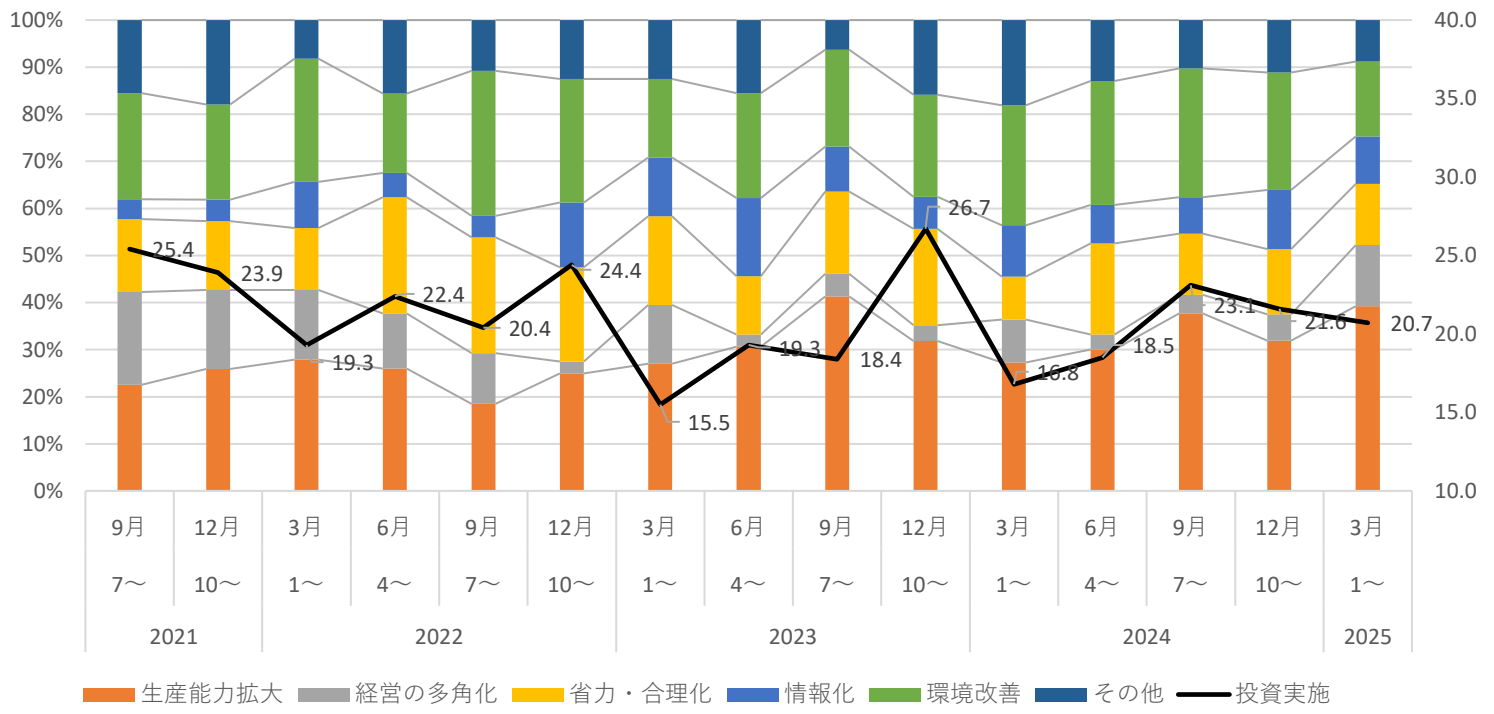
（小数点第2位を四捨五入）

設備投資の有無　(%)

	2021		2022				2023				2024			見込	予測
															2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
投資実施	25.4	23.9	19.3	22.4	20.4	24.4	15.5	19.3	18.4	26.7	16.8	18.5	23.1	21.6	20.7
投資せず	74.6	76.1	80.7	77.6	79.6	75.6	84.5	80.7	81.6	73.3	83.2	81.5	76.9	78.4	79.3

設備投資の目的（実施先について）

	2021		2022				2023				2024			見込	予測
															2025
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
生産能力拡大	22.5	25.8	27.9	26.0	18.5	25.0	27.0	30.6	41.3	31.8	27.3	30.0	37.7	31.9	39.2
経営の多角化	19.7	16.8	14.8	11.7	10.8	2.5	12.5	2.6	4.8	3.4	9.1	3.2	3.9	5.6	13.0
省力・合理化	15.5	14.6	13.1	24.7	24.6	20.0	18.8	12.4	17.5	20.5	9.1	19.4	13.0	13.9	13.0
情報化	4.2	4.5	9.8	5.2	4.6	13.8	12.5	16.6	9.5	6.8	10.9	8.1	7.8	12.5	10.1
環境改善	22.5	20.2	26.2	16.9	30.8	26.3	16.7	22.3	20.6	21.6	25.5	26.4	27.3	25.0	15.9
その他	15.5	17.9	8.2	15.6	10.8	12.5	12.5	15.5	6.3	15.9	18.1	12.9	10.3	11.1	8.8



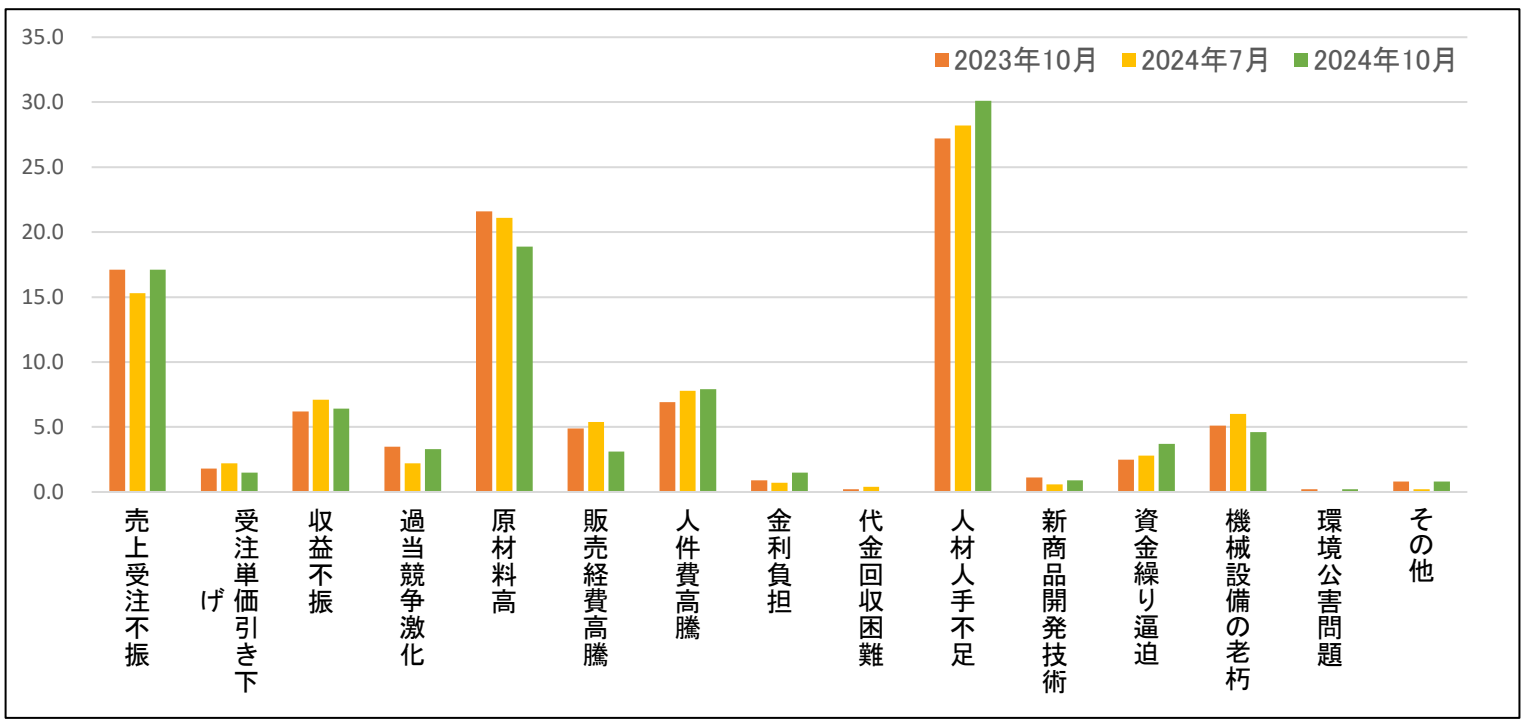
設備投資を実施した企業は23.1%となり、前回比4.6ポイント上昇しました。2024年10月以降は設備投資意欲は横ばい推移と予想しています。

設備投資を実施した目的については、「生産能力拡大」については37.7%と前回比7.7ポイント上昇しました。「環境改善」については27.3%と前回比0.9ポイント上昇しました。「経営の多角化」については3.9%と前回比0.7ポイント上昇しました。一方で、「省力・合理化」が13.0%となり前回比6.4ポイント下降しました。「情報化」については7.8%と前回比0.3ポイント下降しました。

Ⅶ.当面の経営上の問題点

（%：複数回答あり）（小数点第2位を四捨五入）

	2023年10月（前年同月）	2024年7月（前回）	2024年10月（今回）	（うち製造業）	（うち非製造業）	前回比増減
売上受注不振	17.1	15.3	17.1	25.8	14.5	1.8
受注単価引き下げ	1.8	2.2	1.5	0.8	1.7	▲ 0.7
収益不振	6.2	7.1	6.4	8.1	5.9	▲ 0.7
過当競争激化	3.5	2.2	3.3	2.4	3.6	1.1
原材料高	21.6	21.1	18.9	20.2	18.5	▲ 2.2
販売経費高騰	4.9	5.4	3.1	0.8	3.8	▲ 2.3
人件費高騰	6.9	7.8	7.9	5.6	8.6	0.1
金利負担	0.9	0.7	1.5	0.8	1.7	0.8
代金回収困難	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	▲ 0.4
人材人手不足	27.2	28.2	30.1	20.2	33.0	1.9
新商品開発技術	1.1	0.6	0.9	1.6	0.7	0.3
資金繰り逼迫	2.5	2.8	3.7	3.2	3.8	0.9
機械設備の老朽	5.1	6.0	4.6	9.7	3.1	▲ 1.4
環境公害問題	0.2	0.0	0.2	0.8	0.0	0.2
その他	0.8	0.2	0.8	0.0	1.1	0.6



当面の経営上の問題点として前回より引続き「人材人手不足」が最も多く30.1%となります。前回比プラス1.9ポイントとなっており増加傾向となっています。次いで高い項目は「原材料高」の18.9%となります。前回比マイナス2.2ポイントとなっており減少傾向となっています。3番目に高い項目は「売上受注不振」の17.1%となります。前回比プラス1.8ポイントとなっており、上昇傾向にあります。

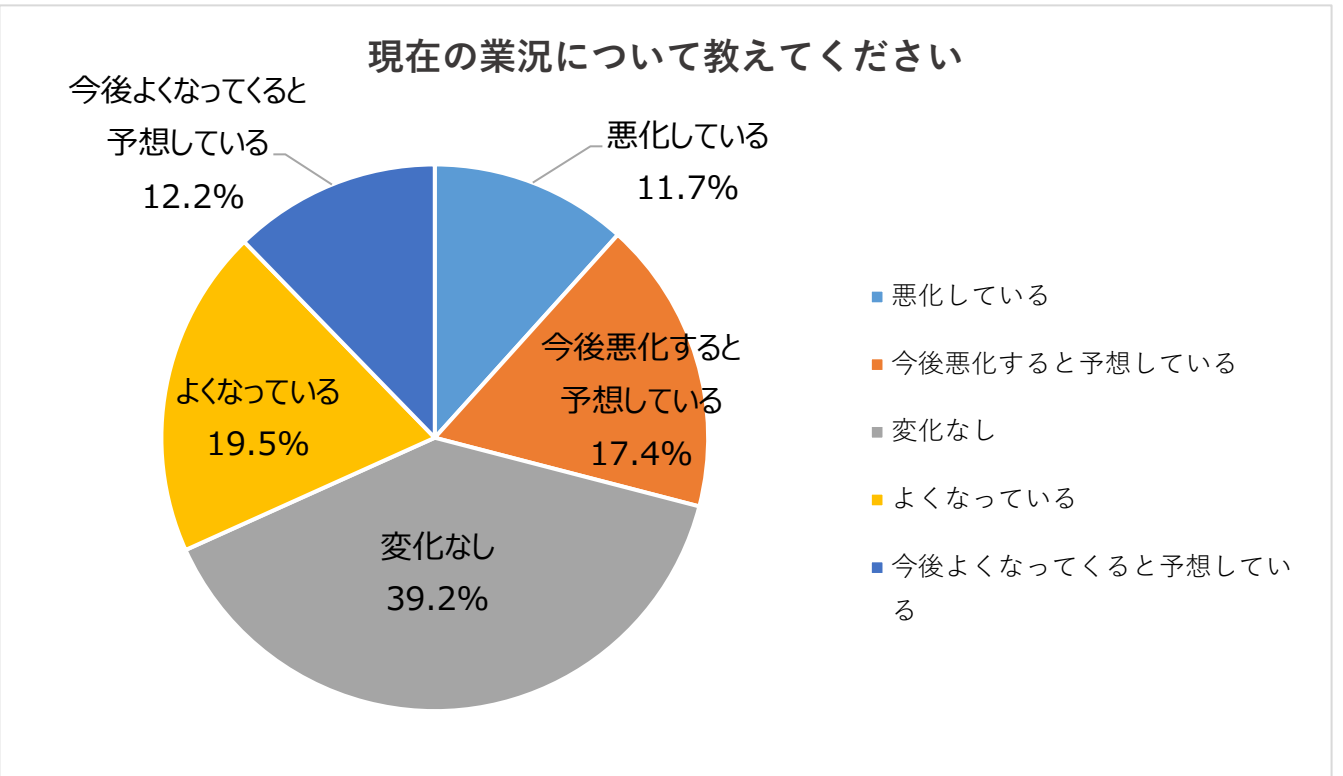
現在の業況、DXへの取組状況について

回答企業数	329社（うち、製造業69社、非製造業260社）
調査企業数	641社
調査時期	2024年10月
調査方法	インターネットによる当行取引先へのアンケート実施 （中小企業動向調査と同時に実施）

現在の業況等に関するアンケートでは、前回調査同様に「売上減少・受注不振」、「原材料、仕入価格上昇」、「人材・人手不足」、「人件費の高騰」が主な業況悪化の要因となっております。
原材料・仕入価格上昇の対応策として、販売価格への転嫁および自助努力による経費削減は進んでいますが、労務費の上昇を取引価格に転嫁しにくいことが課題として挙げられます。
DXの取組に関するアンケートでは、DX推進に向けた取組みが「必要だと思う」・「ある程度必要だと思う」が全体の76.6%と大部分を占めています。一方で、DXに既に取組んでいると回答した企業は26.0%であり、必要性は認識しているものの着手までには至っていない企業も少なくありません。DX推進に当たっての課題としては、「DXを推進する人材が足りない」、「DXに取組む時間がない」などの専門人材が不足しており、企業の自助努力だけでは困難なケースも多く、中小零細企業においては、「どのように推進すればよいか分からない」、「具体的な効果や成果が見えない」などDXの取組みへのハードルが高いことが挙げられます。
DXへの取組みが消極的な中小企業に対して、DXが必要とされる理由やメリットを具体的かつ丁寧に説明していくことが専門家の支援として期待されています。

現在の業況等について

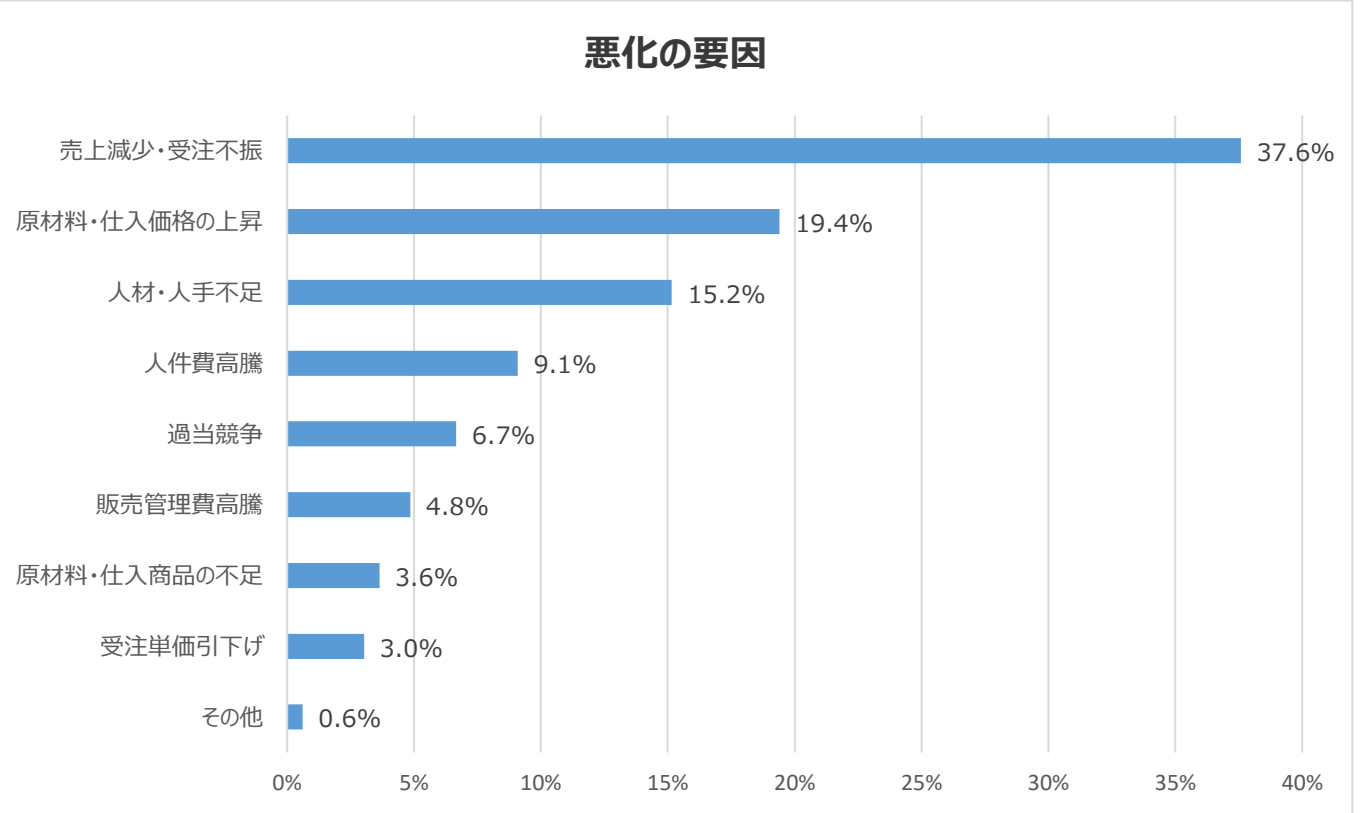
設問1　：　現在の業況について教えてください。



「変化なし」と回答した企業が39.2%と最も多く、次いで「よくなっている」と回答した企業が19.5%、「今後悪化すると予想している」と回答した企業が17.4%となっています。

設問2　：　悪化の原因はなんですか。

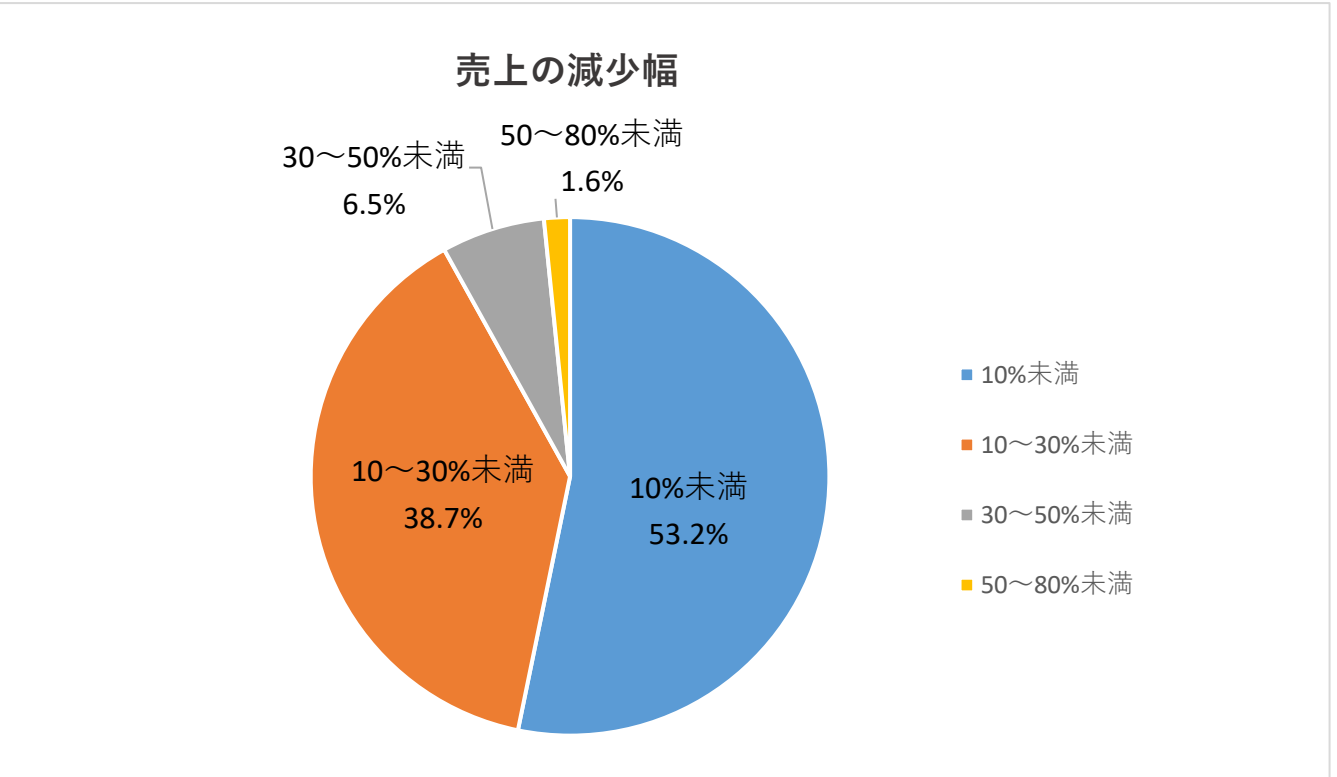
※設問1で「悪化している」「今後悪化すると予想している」と回答された方のみ回答



「売上減少・受注不振」と回答した企業が37.6%と最も多く、次いで「原材料・仕入価格の上昇」が19.4%、「人材・人手不足」が15.2%、「人件費高騰」が9.1%、「過当競争」が6.7%、「販売管理費高騰」が4.8%、「原材料・仕入商品の不足」が3.6%、「受注単価引下げ」が3.0%、「その他」が0.6%となっています。

設問3　：　売上（受注）の減少幅はどれくらいですか。

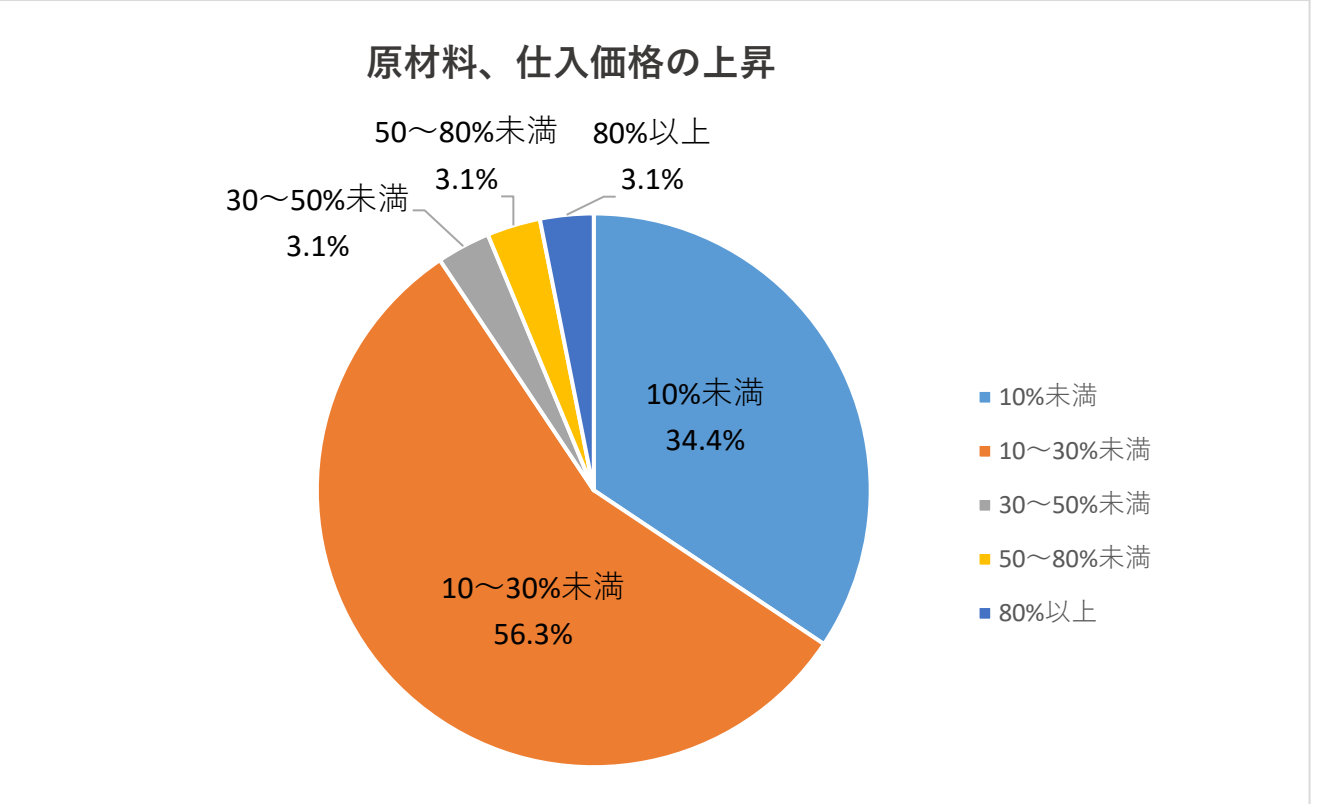
※設問2で「売上減少・受注不振」と回答された方のみ回答



「10%未満」と回答した企業が53.2%と最も多く、次いで、「10~30%未満」が38.7%、「30~50%未満」が6.5%、「50~80%未満」が1.6%となっています。

設問4　：　原材料・仕入価格の上昇はどれくらいですか。

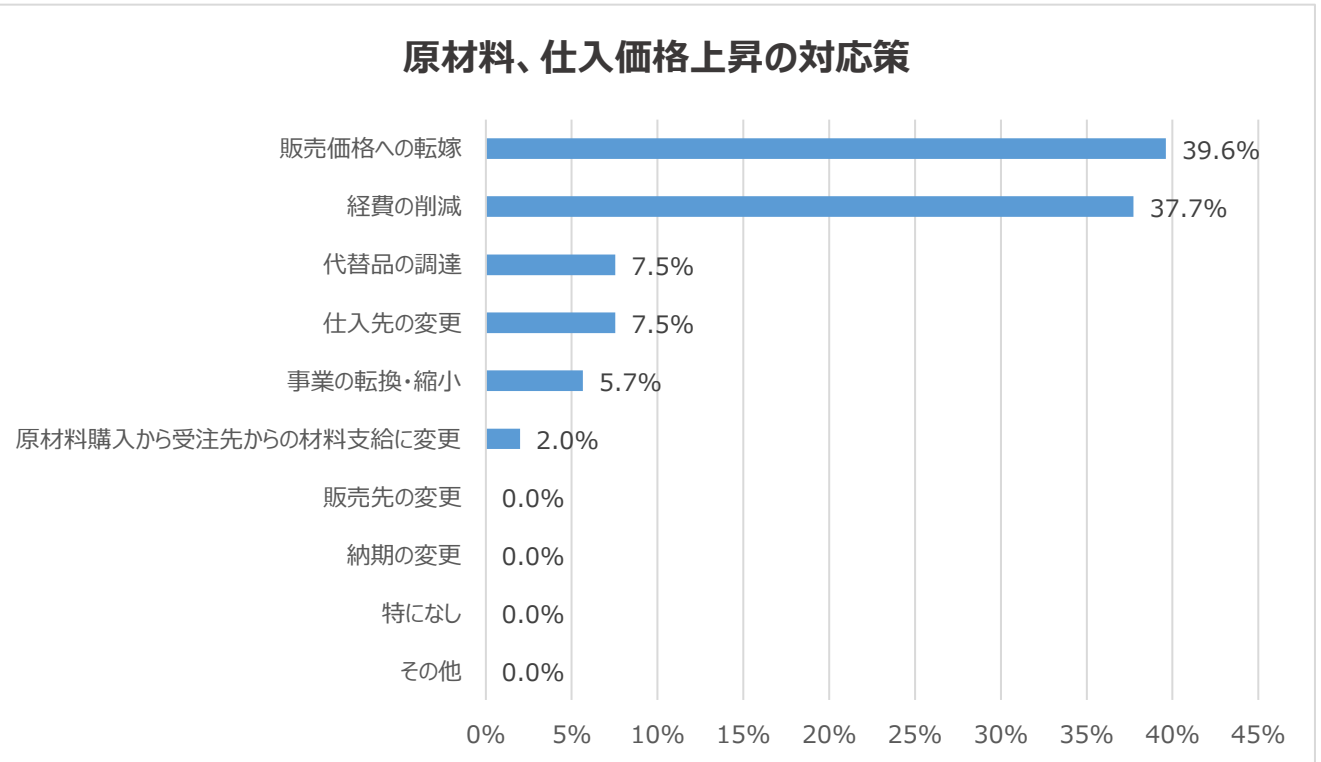
※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答



「10~30%未満」と回答した企業が56.3%と最も多く、次いで、「10%未満」が34.4%、「30~50%未満」、「50~80%未満」、「80%以上」がいずれも3.1%となっています。

設問5　：　原材料・仕入価格上昇の対応策としてどのようなことをしましたか。

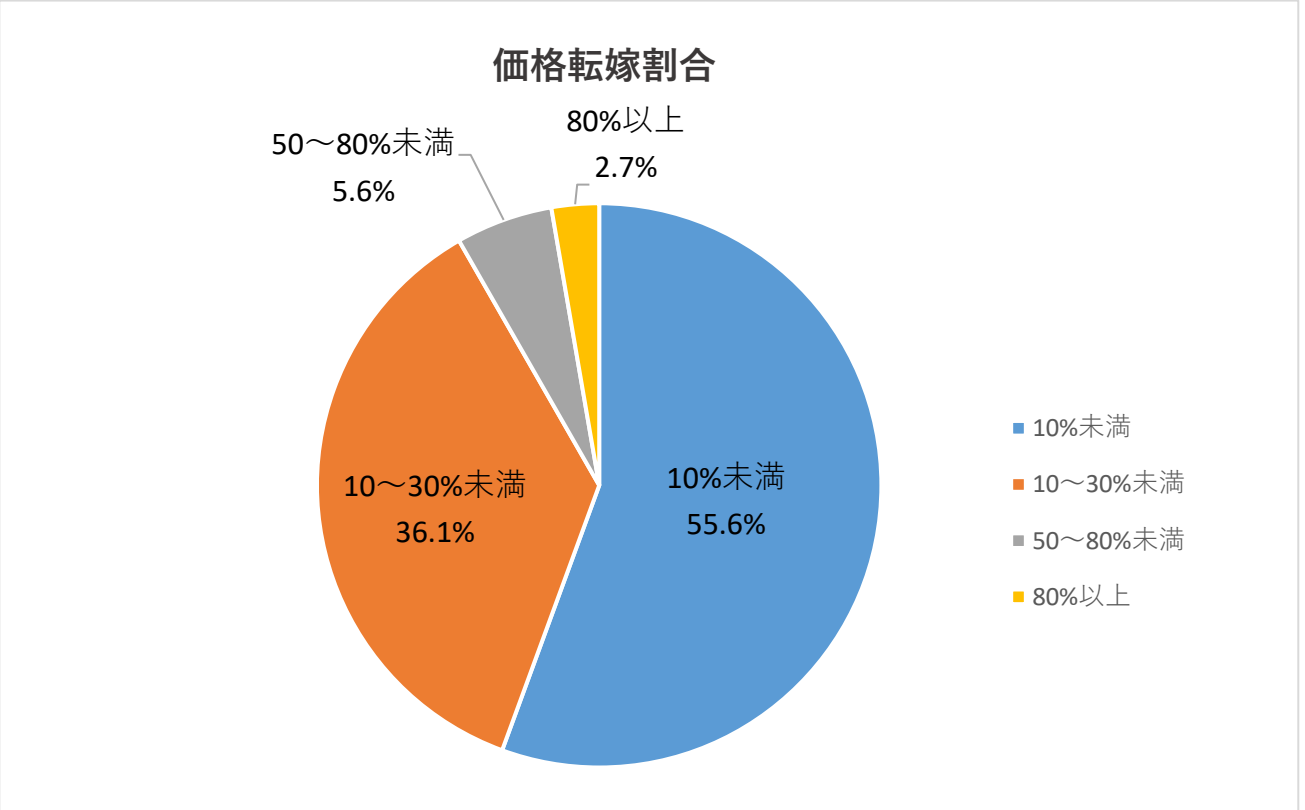
※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答



「販売価格への転嫁」と回答した企業が39.6%と最も多く、次いで「経費の削減」が37.7%、「代替品の調達」が7.5%、「仕入先の変更」が7.5%、「事業の転換・縮小」が5.7%、「原材料購入から受注先からの材料支給に変更」が2.0%となっています。

設問6　：どれくらい価格転嫁されましたか。

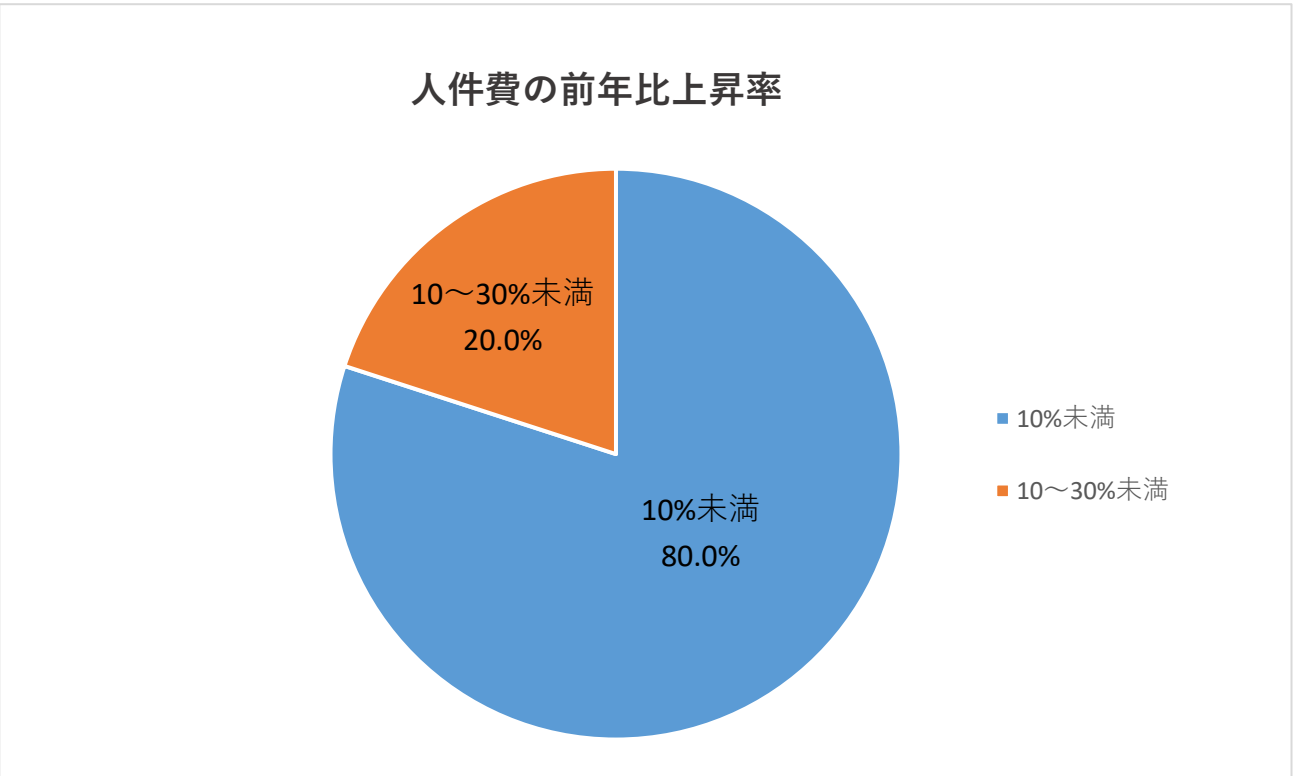
※設問5で「販売価格への転嫁」と回答された方のみ回答



「10%未満」と回答した企業がが55.6%と最も多く、次いで「10～30%未満」が36.1%、「50~80%未満」が5.6%、「80%以上」が2.7%となっています。

設問7　：　人件費は前年度と比較してどれくらい上昇しましたか。

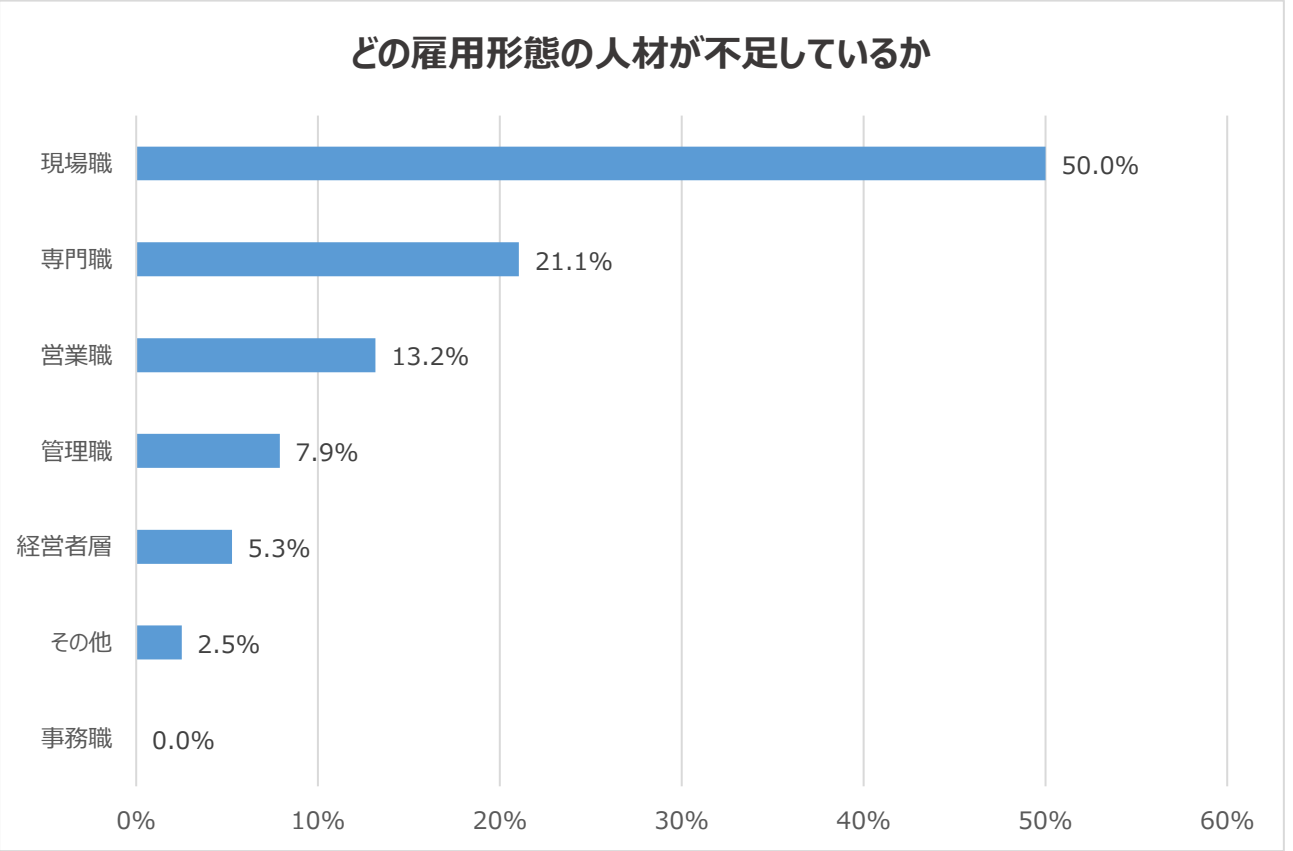
※設問2で「人件費高騰」と回答された方のみ回答



「10%未満」と回答した企業が80.0%、次いで「10～30%未満」が20.0%となっています。

設問8　：　どのような雇用形態の人材・人手が不足していますか。

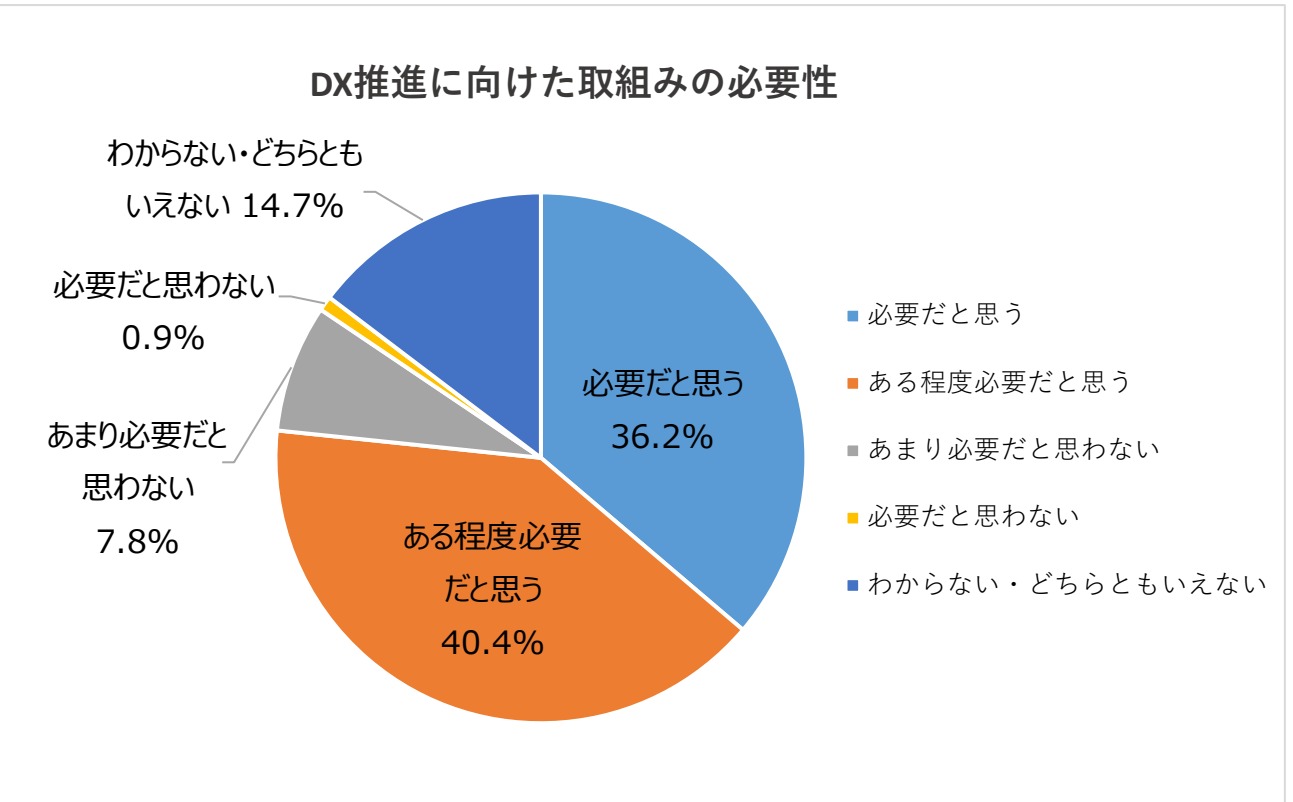
※設問2で「人材・人手不足」と回答された方のみ回答



「現場職」と回答した企業が50.0%と最も多く、次いで「専門職」が21.1%、「営業職」が13.2%、「管理職」が7.9%、「経営者層」が5.3%、「その他」が2.5%となっています。

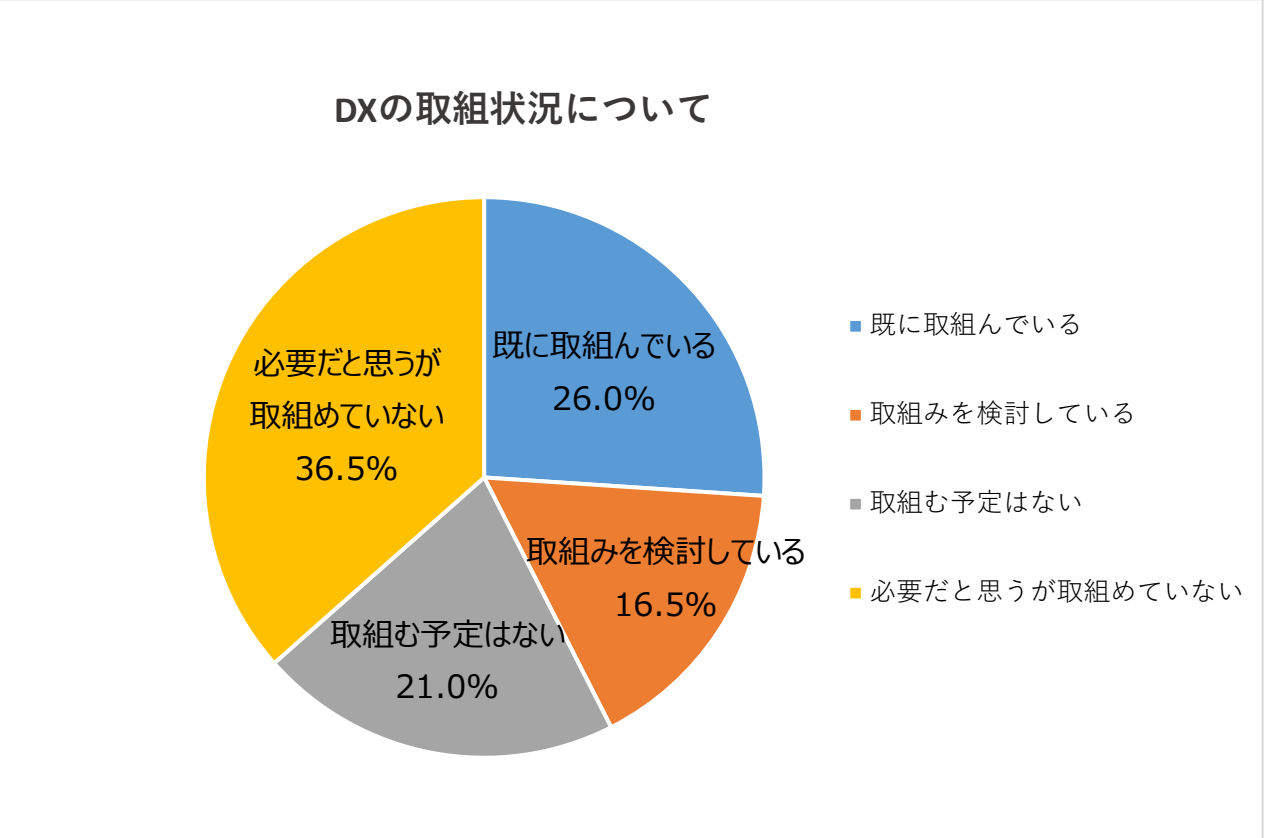
DXへの取組状況について

設問９　：　DX推進に向けた取組みについて必要だと思いますか。



「ある程度必要だと思う」と回答した企業が40.4%と最も多く、次いで「必要だと思う」が36.2%、「わからない・どちらともいえない」が14.7%、「あまり必要だと思わない」が7.8%、「必要だと思わない」が0.9%となっています。

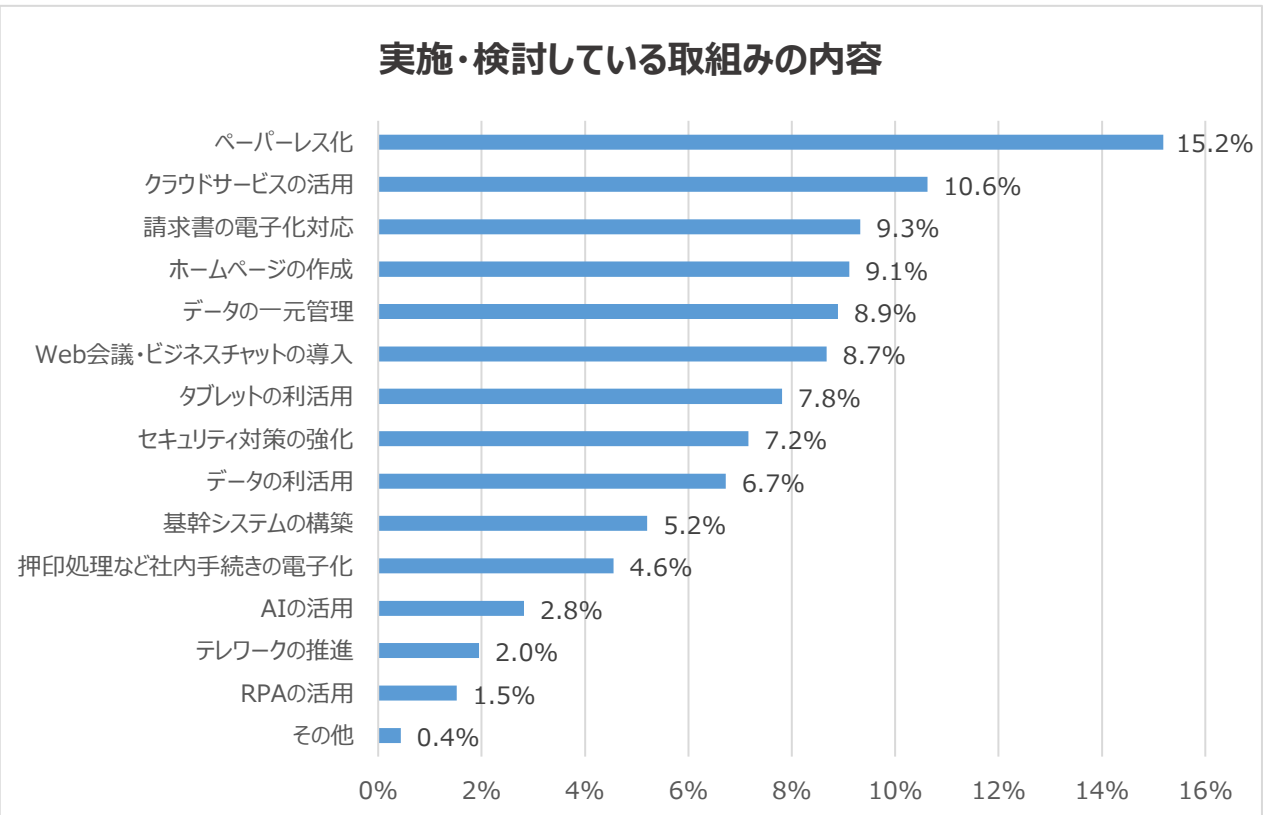
設問10　：　DXの取組状況について教えてください。



「必要だと思うが取組めていない」と回答した企業が36.5%と最も多く、次いで「既に取組んでいる」が26.0%、「取組む予定はない」が21.0%、「取組みを検討している」が16.5%となっています。

設問11　：　どのような内容の取組みを実施もしくは検討していますか。

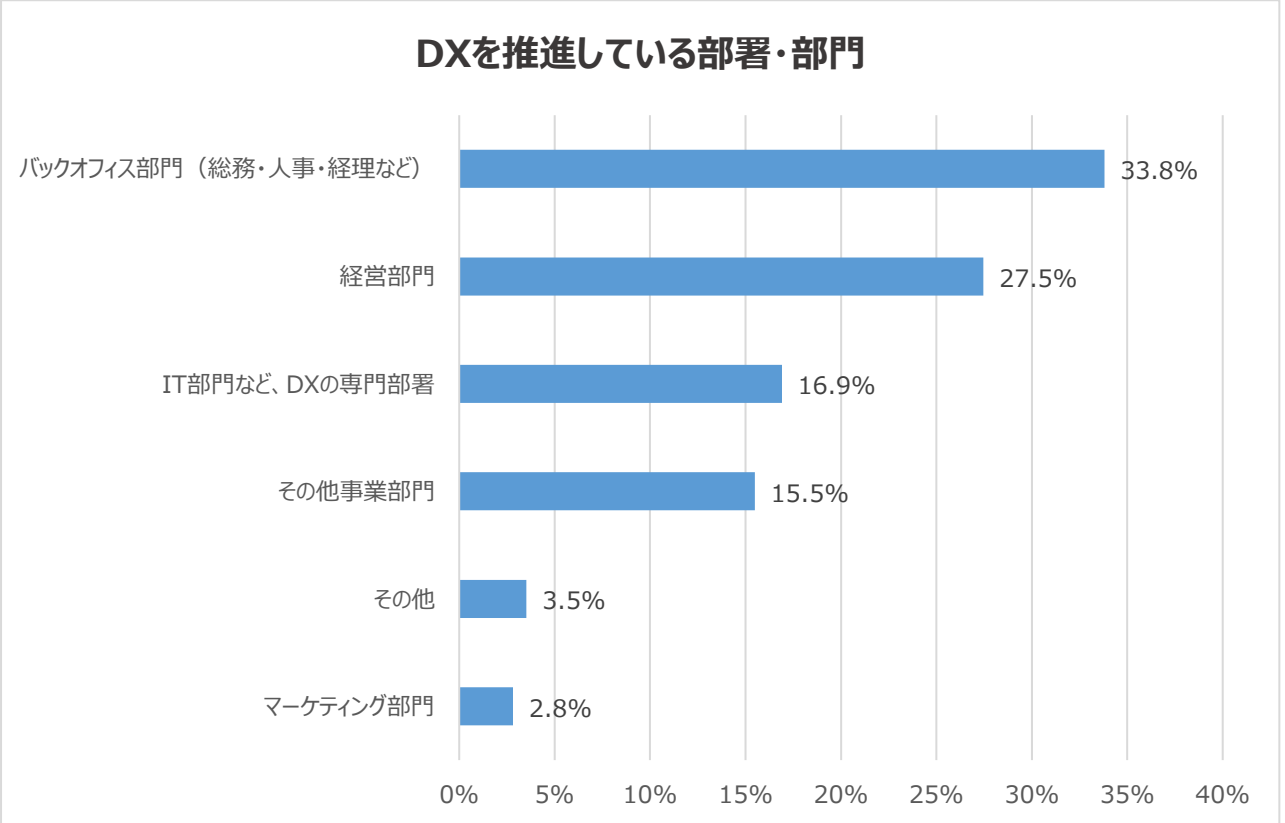
※設問10で「既に取組んでいる」「取組みを検討している」と回答された方のみ回答



「ペーパーレス化」と回答した企業が15.2%と最も多く、次いで「クラウドサービスの活用」が10.6%、「請求書の電子化対応」が9.3%、「ホームページの作成」が9.1%、「データの一元管理」が8.9%、「Web会議・ビジネスチャットの導入」が8.7%、「タブレットの利活用」が7.8%、「セキュリティ対策の強化」が7.2%、「データの利活用」が6.7%、「基幹システムの構築」が5.2%、「押印処理など社内手続きの電子化」が4.6%、「AIの活用」が2.8%、「テレワークの推進」が2.0%、「RPAの活用」が1.5%、「その他」が0.4%となっています。

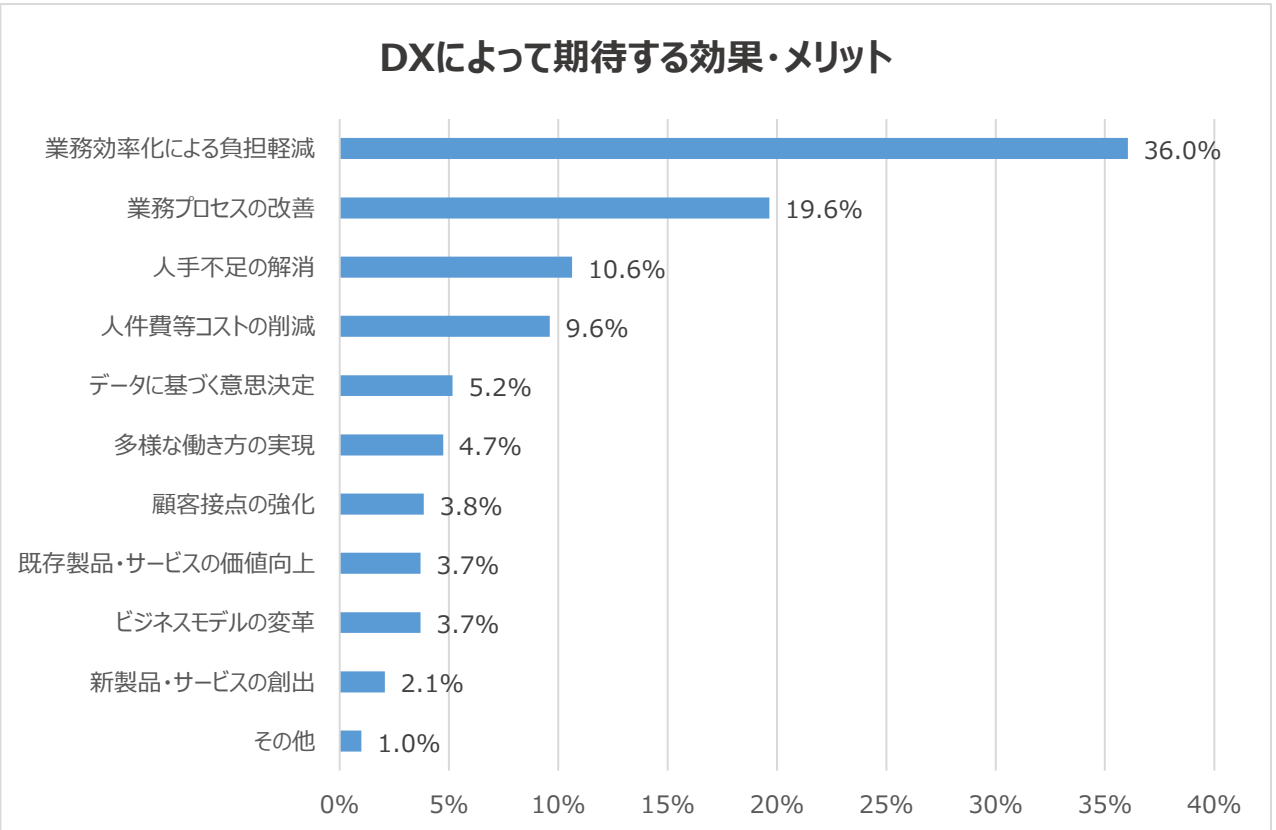
設問12　：　DXを推進している部署・部門について教えてください。

※設問10で「既に取組んでいる」「取組みを検討している」と回答された方のみ回答



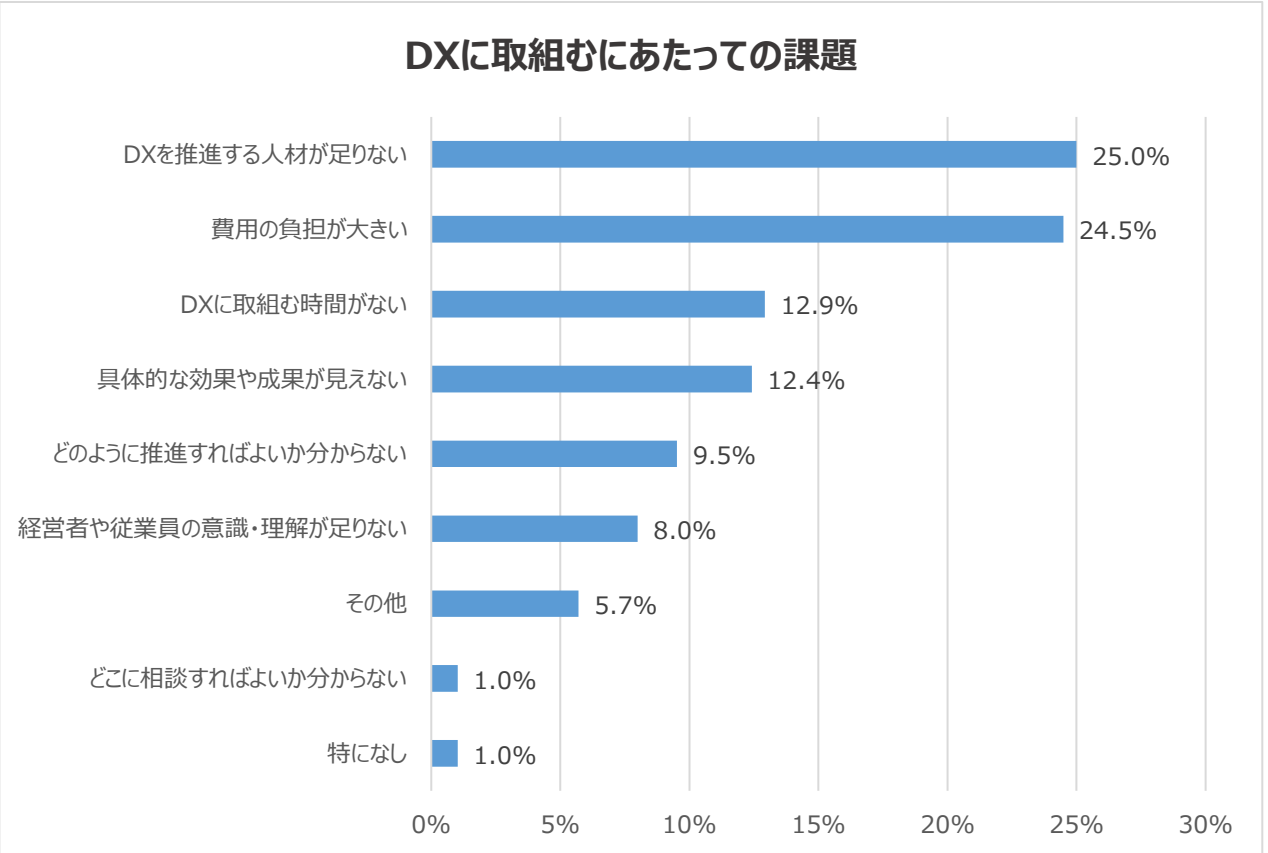
「バックオフィス部門（総務・人事・経理など）」と回答した企業が33.8%と最も多く、次いで「経営部門」が27.5%、「IT部門など、DXの専門部署」が16.9%、「その他事業部門」が15.5%、「その他」が3.5%、「マーケティング部門」が2.8%となっています。

設問13　：　DXの取組みによって期待する効果・メリットについて教えてください。



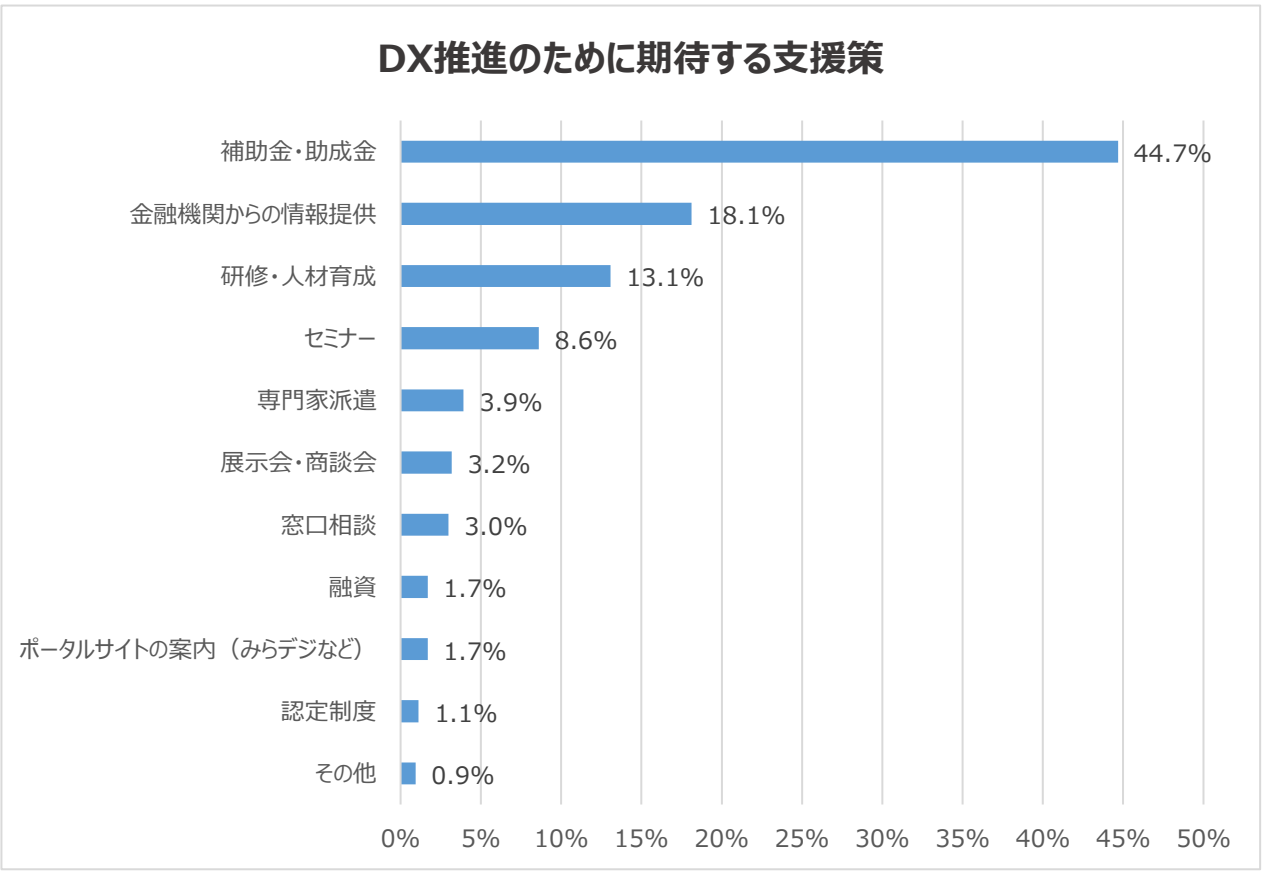
「業務効率化による負担軽減」と回答した企業が36.0%と最も多く、次いで「業務プロセスの改善」が19.6%、「人手不足の解消」が10.6%、「人件費等コストの削減」が9.6%、「データに基づく意思決定」が5.2%、「多様な働き方の実現」が4.7%、「顧客接点の強化」が3.8%、「既存製品・サービスの価値向上」が3.7%、「ビジネスモデルの変革」が3.7%、「新製品・サービスの創出」が2.1%、「その他」が1.0%となっています。

設問14　：　DXに取組むにあたって、どのような課題がありますか。



「DXを推進する人材が足りない」と回答した企業が25.0%と最も多く、次いで、「費用の負担が大きい」が24.5%、「DXに取組む時間がない」が12.9%、「具体的な効果や成果が見えない」が12.4%、「どのように推進すればよいか分からない」が9.5%、「経営者や従業員の意識・理解が足りない」が8.0%、「その他」が5.7%、「どこに相談すればよいか分からない」が1.0%、「特になし」が1.0%となっています。

設問15　：　DX推進のために期待する支援策について教えてください。



「補助金・助成金」と回答した企業が44.7%と最も多く、次いで「金融機関からの情報提供」が18.1%、「研修・人材育成」が13.1%、「セミナー」が8.6%、「専門家派遣」が3.9%、「展示会・商談会」が3.2%、「窓口相談」が3.0%、「融資」が1.7%、「ポータルサイトの案内」が1.7%、「認定制度」が1.1%、「その他」が0.9%となっています。

メモ

法人コンサルティングサービスのご案内

お客さまのお取組み

売上増加	成長戦略	経営改善
事業承継	ＩＴ・効率化	人事施策
サステナブル	気候変動	ガバナンス

将来のあるべき姿を考えたい

経営課題を解決したい

サステナブル経営を実現したい

幅広いメニューであらゆるステージに対応しています

コンサルティング面でのサポート

【コンサルティングサービス（伴走支援）】
- 成長戦略策定支援サービス
- 経営改善支援サービス
- 各種補助金申請のご支援
- BCP計画策定サポート
- DXコンサルティング
- 人事評価制度・賃金体系

【SDGs取組支援サービス】
- お客さまのSDGs宣言のサポートから、SDGsに資する取組みの実行をサポートいたします

【カーボンニュートラルサービス】
- お客さまのCO2排出量の算出
- CO2削減ソリューションのご提案
- 再生可能エネルギー導入のご提案
- SBT認証（国際認証）の取得

【ビジネスマッチング】
- 経営課題を解決する最適なツールをご提案
- 企業同士のニーズとシーズの引き合わせ
- アウトソーシングニーズ、コストダウンニーズ、不動産ニーズ、リースニーズにも対応

【人材紹介】
- 必要な人材を紹介し、お客さまの経営力強化に　貢献します

【事業承継・M&A】
- 事業承継、M&A、親族承継から第三者承継まで、あらゆる状況に応じた最適なご支援を実施します

サステナブル面でのサポート

【ファーストSDGs私募債（寄贈型）】
- 手数料の優遇金額分を、ご利用のお客さまの目的に応じて寄付を行なう仕組みです

【ファースト・サステナビリティ・リンクローン】
- 本枠組みで、お客さまのサステナビリティの将来計画するお取組みに対して、第三者評価機関から　評価を得て対外的にアピールします
- お客さまの経営理念、行動指針の具現化へのESG目標を定め行動することで、お客様の持続可能性と社会への貢献を高めることをサポートします

【ファースト・グリーンローン】
- 高い環境効果があるグリーンプロジェクトをファイナンスでサポートいたします。本枠組みの中で、外部評価機関の認証を取得し、お客さまのお取組みを対外的にアピールします

【ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス】
- 経済・環境・社会の３つの側面について、　企業活動から生まれるポジティブ・ネガティブなインパクトを定量化し、独自の目標を設定する一連のお取組みに対して分析・評価し、対外的に　アピールします

【省エネルギー設備投資に係る利子補給】
- 省エネ設備投資に対する金融支援

【地域脱炭素融資促進利子補給】
- 低炭素設備投資に対する金融支援（再生可能エネルギー等）

中小企業の
お悩みに効く！

富山第一銀行

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。
地域に根ざしているからこそ力になれる
その想い富山第一銀行に聞かせてください。

富山第一銀行 https://www.first-bank.co.jp/business/